

さらに「安心」「信頼」して いただくために

vol.2 ATS(自動列車停止装置)の 機能向上

ATSとは…

列車を「安全」に走らせるための設備のことです。

ATSとは「自動列車停止装置」(Automatic Train Stop device) のことであり、列車が停止信号に接近すると、地上からの制御情報により運転室内に警報ベルを鳴らして運転士に注意を促したり、自動的にブレーキを動作させて、列車を停止信号の手前に停止させる装置です。

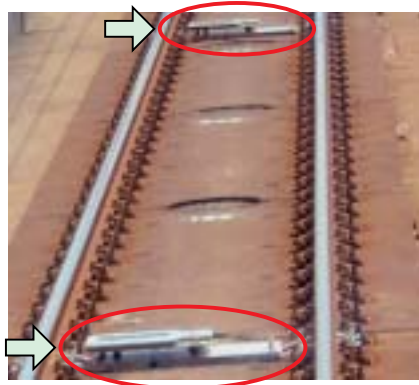
このATSに速度チェック機能を付加したものとして、ATS-SWとATS-Pがあります。

ATS-SWとは…

ATSに速度測定機能を付加したものであり、停止信号のほかにカーブやポイント、行き止まり線の手前で列車の速度をチェックし、制限速度を超えるおそれのある時に非常ブレーキを動作させ列車を止める機能を有しているものです。

当社では、「安全性向上計画」の取り組みの一環として、曲線用ATS-SW(速度測定機能付)やATS-Pを、1,234箇所の曲線に設置し、使用を開始いたしました。

引き続き、ポイント、行き止まり線に対して機能するATS-SWの設置に最優先で取り組んでおります。



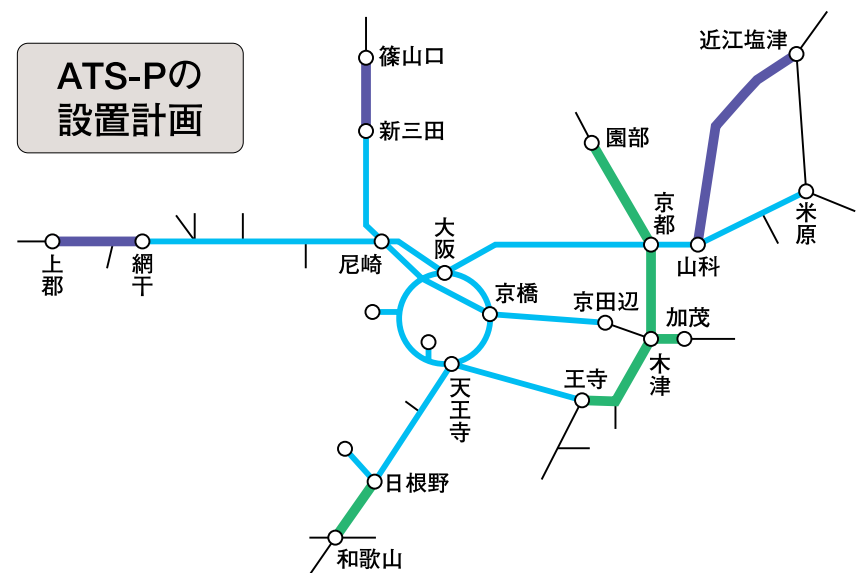
	設置箇所数 (全線区対象)	整備時期
カーブ	1,234箇所	平成17年度整備完了
ポイント	約1,100箇所	平成18年度末をめどに整備
行き止まり線	約50箇所	

ATS-Pとは…

停止信号のみならず、カーブやポイント、行き止まり線において、列車の速度を常にチェックし、制限速度を超えるおそれのある時は、自動的にブレーキを動作させ制限速度以下に減速させる機能を有しているものです。

アーバンネットワークの列車本数の多い線区で整備を進めています。

ATS-Pについても、設置区間の拡大に向けて取り組んでおります。



整備区	整備済	整備済
— (Blue)	387km	
— (Green)	124km (平成20年度迄)	
— (Purple)	120km (平成22年度迄)	
合計	平成22年度末	631km